

第4学年

コロコロ・ガーレ

～友達とのかかわりのなかで工夫する～

- めあて
- ・友達と話し合いながら、楽しく遊べる“ビー玉の迷い道”を工夫して作る。
 - ・素材の生かし方やビー玉の動きに着目して、友達の作品のよさを味わう。

- 準備物
- ・カラー厚紙、カラー段ボール、ボンド、カッター、ビー玉など（教師）
 - ・紙箱、色紙、絵の具、ビーズなど（児童）



学習の流れ	実践上の留意点
<p>○ ビー玉の迷い道を作る。</p> <p>○ 制作途中に、友達とお互いの作品のビー玉の動きを試しながら意見交換をする。</p> <p>○ できた作品で友達と一緒に遊びながら鑑賞する。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・ビー玉の楽しい動きを考えながら迷い道を作らせる。 ・段ボールなどの素材のおもしろさや美しさに気づかせて、それを作品に生かすようにさせる。 ・できるだけセロテープを使わせないことで、のりしろを使った紙の丈夫な接合方法を工夫させる。 ・ある程度制作が進み、ビー玉の動きが決まってきたら、友達に試してもらい感想を聞いたり、友達の作品について気づいたことを言ったりさせる。 ・友達に楽しく遊んでもらうためには、易し過ぎず、難し過ぎず、またビー玉の変化ある楽しい動きなどが必要なことを捉えさせる。 ・班でお互いの作品で遊びながら、楽しかったところや工夫されているところ、また、作品の美しさについて話し合わせる。 ・作品は展示して、いつでもみんなが遊べるようにしておき、付箋に感想を書いて貼るようにする。 ・異学年でも紹介したり楽しんだりする。（ゲーム大会をしてもよい。）